

# Campus 大 学 Topics

キャンパストピックス

## 学長表彰、学生部長表彰、神谷奨励賞の表彰式を挙行



学長表彰



学生部長表彰



神谷奨励賞

3月10日長久手キャンパスミニシアターにおいて、平成26年度の学長表彰、学生部長表彰、神谷奨励賞の表彰式が行われました。

学長表彰は、毎年優れた学業成績、研究成果、課外活動等において顕著な成績を収めた個人や団体を対象とするもので、今年度は1人が表彰されました。

学生部長表彰は、中部、関西、東海地区大会等で上位入賞の成績を収めた者、社会奉仕活動等で顕著な活動を行ったものを対象とし、今年度は個人15人と7団体が表彰されました。

神谷奨励賞は、各学科専攻に在籍する3年生を対象として、優れた学習研究の成果をあげ、学部長の推薦を受けた学生に贈られる賞で、20人の学生が受賞しました。

それぞれの分野で精一杯の努力が認められた受賞者の皆さんのますますの活躍を期待しています。



### 学長表彰

顕著な課外活動	心理学部 心理学科	4年 藤田智也さん	第53回全日本学生なぎなた選手権大会 試合競技男子個人の部 優勝
---------	--------------	-----------	----------------------------------

### 学生部長表彰

中部、関西、東海地区 上位入賞 同等以上	文学部 教育学科	1年 中井茉友さん	<弓道部>	第58回東海学生弓道秋季リーグ戦 女子個人十傑 6位
	文学部 英文学科	3年 中原未央さん	<弓道部>	第57回東海学生弓道選手権大会 女子個人の部 6位
	心理学部 心理学科	3年 湯浅玲さん	<弓道部>	第57回東海学生弓道選手権大会 女子個人の部 7位
	文学部 教育学科	2年 山本大貴さん	<弓道部>	東海学生弓道選手権大会 入賞 男子個人の部 6位
	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	2年 木下佳奈さん	<スキー部>	第59回中部日本学生スキー選手権大会 スーパー大回転種目 2位・大回転種目 3位・回転種目 3位
	ビジネス学部 ビジネス学科	3年 有吉佑有さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 女子シングルの部 ベスト8 女子ダブルスの部 3位 第65回全日本学生バドミントン選手権大会女子団体 女子シングルス・ダブルスの部出場
	人間情報学部 人間情報学科	3年 渡邊亜美さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 3位 第65回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体・女子シングルス・ダブルスの部出場
	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	3年 青木那奈さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 ベスト8 第65回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体出場
	メディアプロデュース学部 メディアプロデュース学科	1年 山岡夕記さん	<バドミントン部>	第63回中部学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 ベスト8 第65回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体・女子ダブルスの部出場
	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	1年 高田結衣さん	<バドミントン部>	第63回中部学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 ベスト8 第65回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体・女子ダブルスの部出場
	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	3年 近藤爽加さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 女子ダブルスの部 ベスト8
	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	3年 濱口礼光さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルスの部 4位
健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科	3年 野田裕二郎さん	<バドミントン部>	第62回東海学生バドミントン選手権大会 男子ダブルスの部 4位	
その他	ビジネス学部 ビジネス学科	3年 丹羽茉美さん		2014年キャンパスベンチャーグランプリ中部ブロック大会 中部経済産業局長賞
	ビジネス研究科 ビジネス専攻	1年 浅井怜衣さん		日本経営システム学会第63回全国研究発表大会 学生研究発表優秀賞
中部、関西、東海地区 上位入賞 同等以上	なぎなた部			第53回全日本学生なぎなた選手権大会 試合競技男子団体の部 2位
	バドミントン部			第119回東海大学バドミントン選手権大会(春季リーグ) 女子1部2位・男子1部5位 第120回東海大学バドミントン選手権大会(秋季リーグ) 女子1部2位・男子1部3位 第63回中部大学バドミントン選手権大会 女子団体 ベスト16 第64回西日本学生バドミントン選手権大会 女子団体 ベスト16 第65回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体 ベスト32
	チアリーディング部			第19回中部チアリーディング選手権大会 総合優勝・大学の部 1位(5連覇) チアリーディング日本選手権大会(Japan Cup 2014) 大学の部 12位 第26回全日本学生チアリーディング選手権大会競技部門 11位
その他	弓道部			第58回東海学生弓道秋季リーグ戦 1部リーグ昇格
	女子硬式テニス部			2014年度東海大学対抗テニスリーグ戦 1部リーグ昇格
	よさこい探究会「鳴踊」			2014につぼんど真ん中祭り 奨励賞 安濃津よさこい高知県知事賞 四日市よさこい駅前パレード会場賞
ビジネス学部 ビジネス学科	3年 近藤康平さん・杉本雅典さん・平野貴大さん			2014年キャンパスベンチャーグランプリ中部ブロック大会 名古屋商工会議所会頭賞

### 神谷奨励賞

文学部	<国文学科>梅本絵美さん <英文学科>田中智子さん <教育学科>永田結香さん
人間情報学部	<人間情報学科>長谷川智子さん、吉田光希さん
心理学部	<心理学科>前野桃子さん、渋谷友美さん
メディアプロデュース学部	<クリエイティブライティングコース>木村泰代さん <メディア表現コース>加藤小巻さん <都市環境デザインコース>渡邊綾香さん
健康医療科学部	<医療貢献学科言語聴覚学専攻>清水綾子さん <医療貢献学科視覚科学専攻>秦彩花さん <スポーツ・健康医科学科>勝川智香子さん
福祉貢献学部	<福祉貢献学科社会福祉専攻>山本理華子さん <福祉貢献学科子ども福祉専攻>水野佑規子さん
交流文化学部	<交流文化学科>立花知香さん、浅野有香さん、長瀬紀和子さん
ビジネス学部	<ビジネス学科>杉山綾さん、山崎恵里奈さん

※学年は平成26年度のものです

# Campus 大学 Topics

キャンパストピックス

## 第53回全日本学生なぎなた選手権大会試合競技男子個人の部 優勝 藤田智也さん(心理学部・2014年度卒業)



藤田さんは昨年8月に開催された第53回全日本学生なぎなた選手権大会試合競技男子個人の部で優勝し、見事大学最高峰の選手権大会の王者に輝きました。藤田さんは高校まで地元のクラブに所属して稽古を行っていましたが、大学入学後、なぎなた部に所属し、初めての部活動を経験することになりました。入学後はなかなか部活動に馴染めず、思うような結果を残すことができずに葛藤する日々もあつたそうです。苦悩する中、部に対して自分ができることを考え、部員を指導することで初心に戻り、競技に真摯に向き合うことで、技術的にも人間的にも成長し、より一層強くなることができましたと語ってくれました。

社会人になつても競技をつづける藤田さんの夢は4年後に行われる世界なぎなた選手権大会出場です。藤田さんのますますのご活躍を祈念しております。

## ANAビジネスソリューション株式会社と教育連携協定を締結



4月8日、ANAビジネスソリューション株式会社と愛知淑徳大学との教育連携協定に関する調印式が星が丘キャンパスで行われ、宮川純一郎社長と島田修三学長の間で調印が交わされました。宮川社長は「航空業界をはじめ、社会で広く通用する、おもてなしの心を持った人材を養成したいと考えています。愛知淑徳大学との連携が、グローバル化が進む日本を支える人材の育成につながることを願っています」と期待を語ってくださいました。島田学長は「航空業界を志望する学生は多く、その意欲に応えられる新しい「学びの場」が創出できることは、非常にありがたいことだと感じています」と深い謝意を表しました。

この連携協定を機に、8月には集中講義「ANAエアラインスクール学内講座」を開講し、現役キャビンアテンダントによる講義やANA中部空港での実務体験などを実施する予定です。こうした教育連携により、多くの学生が航空業界に求められる社会人基礎力や接遇基礎力を身につけ、次代を担う人へとたくましく成長していくことでしよう。

## 都市環境デザインコース 2015卒業プロジェクト展



1m×1mを超える大きな模型にA1のパネルが8枚。建築の設計を学んだ学生達の集大成が、本年も一般の方に向けて広くお披露目されました。2月17日～22日にかけて、名古屋市民ギャラリー栄7階にて卒業プロジェクト展が行われ、事前の学内選考で選ばれた設計・制作の作品17点と、論文8本が展示されました。特に今年は例年にもまして大きな建築模型が多く、見応えのある会場になつたように思います。また搬入時にはエレベーターに入らないサイズの模型を出展者が協力して運ぶなど、学生にとつては卒業前の最後の共同作業の場にもなりました。

今年の傾向としては、自らの体験を抛り所にした提案が多かつたように思います。社会に対しての提言という意味では物足りなさを感じつつも、大上段に構えず自らの設定したテーマに実感を持って対峙しようとしている様にも見え、好感が持てました。

期間中は一般の方に加えて、これまでのコース卒業生も多く訪れ、温かい、また同時に敵しいご意見を多数いただく事ができました。この1年向き合つたテーマを胸に、自信を持って社会へ飛び込んでいって欲しいと願います。

# Campus 中学校・高等学校 キャンパストピックス Topics

## 愛知淑徳高等学校入学式

淑徳晴れとなった4月7日、美しい桜の花に迎えられて、愛知淑徳高等学校の入学式に新入生278人が臨みました。校長は式辞で、「奇跡とは、起きるはずのないことが、そうやってほしいという人間の強い意志で起きるものだ。奇跡は起こるから奇跡というのであって、自分には無理だとあきらめていては、奇跡が起きることはない」という言葉を引用し、勉強や進路、学校行事などに自ら積極的に向かう、自立した姿勢を期待していると話されました。理事長からは、高校3年間でより充実したものになるようにとの励ましのことがあり、新入生たちは全員、心に刻み込むように真剣な表情で聞き入っていました。高校3年間は中学校3年間に以上に心身ともに大きく成長できる時期でもあります。学習面とともに、行事やクラブ活動にもより積極的に取り組む、充実した高校生活を送れることを願っています。



## イギリス研修・キングスレイ校やオックスフォード大学生と交流

3月22日～4月2日までの12日間、中学生14人、高校生15人で第2回目のイギリス研修を実施しました。冬休みから事前学習を開始し、3学期には英語で発表や質疑応答の練習を行うなどして出発までにしっかり準備をして臨みました。

22日にイギリスに到着し、ホームステイ滞在が始まりました。24日には、レミントンスパにあるキングスレイスクール（5歳～18歳の女子校の生徒と交流を持ちました。一緒にイースター祭のエッグハントや折り紙、料理を作り合ったり、実際の授業に参加してアートや楽器の演奏、習字を楽しみました。また、全校集会にて愛知淑徳の紹介や参加したバントワーリング部員による演技などを披露しました。25日にはオックスフォード大学へ行き、広く美しいキャンパスを見学した後、現地の大学生とグループに分かれてスピーチやディスカッションを行いました。

最後の2日間は、世界遺産のブレナム宮殿に続いてロンドン市内研修。30日夜には「チャーリーとチョコレート工場」を鑑賞し、本場のミュージカルを堪能しました。グリニッジ王立天文台やバックingham宮殿、大英博物館、ウエストミンスター寺院などを見学しました。

自分から英語で話す勇氣と、通じた時の喜びを体験し、英語を使って自分を表現する楽しさを学ぶことができました。



## 思索と対話の春合宿

高1の宿泊行事である「思索と対話の春合宿」は4月12日～14日に今年度は蒲郡市三谷温泉山荘にて行われました。美しい三河湾に面する静かな環境に身を置き、生まれてからの15年間を振り返り、高校生になった現在の自分をじっくりと見つめ、将来へと思いを馳せるための合宿です。以下、生徒の感想です。

「思索と対話」

ここまで自分のことを深く深く考えていたら、自分がどういう人間なのか、分からなくなってしまう。私の中には悩みや考えがたくさん存在しているが、葛藤しているのがほとんどで、ああでもない、こっでもない、と考えていたら自分は結局どうしたいのか、今私が考えたことはただ単にきれいごとで終わってしまっていないか、と少し自分を信用しきれなかった部分があった。でも友達と対話してみても、「ああ皆もこう思っているんだ」と少し安堵したり、皆で思索して「そうだな、そうなるよ」とそのテーマについて確信を持てたり、すっきりすることができた。自分一人では解決できない、考えられないことも、二人寄れば文殊の知恵の通り、理解できるようになり、そこでまた新たな思索を見つけて話し合うことができ、とても嬉しかった。こういうことをこの合宿だけじゃなく日常的に話せる友達を見つけれたいと思った。

「15歳の履歴書・15年後の設計図」

自分の今までの15年間を振り返ってみると、家族はもちろん、先生や友達など、本当にたくさんの方に支えてもらい続けていた15年間だなと思いました。1日目の資料集から、私が読んだ「自立」について語られたものがあった。「自立は一人でするもんじゃなく」という意味を実感した気がしました。また、「自立」の上で必要なコミュニケーションというものも、対話の時間で体験し、自分の伝えたいことを伝えるべきことを伝えることの難しさというものをひしひしと感じ、この合宿で、考えることがつながった気がしました。



## 平成26年度中学校卒業式を挙行

数日來続いていた朝の寒さもようやくやわらいで来た3月19日、愛知淑徳中学校卒業式が行われ、282人が門出の時を迎えました。高校ではすでに3月2日に卒業式を終えて、半月あまり遅れての中学卒業式となりました。

本校のような中高一貫校では、卒業生たちはほぼ同じメンバーで高等学校に進学することになります。中学卒業式は9年間の義務教育を終える大きな区切りの意味もこめて、1、2年生や父母、教職員が見守る中、今年も厳粛に行われました。

高校へ進学してからも学年の顔ぶれも校舎も変わらないからこそ、心の成長の区切りをつけるための大切な卒業式です。中学最上級生であるという自覚が生徒たちを精神的に大きく成長させます。3年生たちは皆、真剣な表情で参加していました。一人ひとりの決意の強さを示すかのように、校歌もひとときわ強く聞かせ、歌う姿はいつもよりたくましく感じました。「卒業のことば」では、学園祭の思い出、友達や両親への感謝、後輩への思いを、心こもった言葉で語りました。在校生の歌う「春風の中で」に込めるように歌った「信じる」は、かけがえない仲間との思い出を一つひとつ確かめているようでした。

中学校の卒業式は、義務教育を終了して自立した高校生活へと舵を切る大切な記念日です。この日に感じた決意をどうにか心に留めて、高校生活をすばらしいものにしてくれることを、心から祈ります。

